業務デザイナー機能説明書 フロー連携定義編

目次

7ロー連携定義3
フロー連携定義
フロー連携定義の検索4
フロー連携定義の作成
申請フロー連携設定11
関連フロー起票設定17
ファイル出力設定 21
コマンド/URL 設定28
データベース書込み設定 29
発行管理連携設定 33
期限日設定連携36
教育デザイナー連携
フロー連携定義の複写42
フロー連携定義の変更44
フロー連携定義の表示47
フロー連携定義の削除48
フロー連携定義のエクスポート49
フロー連携定義のインポート 51
補足説明 1. 連携項目数の上限54

フロー連携定義

運用中のフローから新しいフローを起動するなど、フローのデータを用いた様々な連携の設定をする機能です。

フロー連携定義

フロー連携定義とは、申請フローから新しいフローを起票したり、帳票の内容をファイルに出力したり、様々な連携が設定できます。

フロー連携定義では、以下の8つの設定について説明します。

No.	項目名	説明
1	申請フロー連携	フローの任意のタイミングで、新しいフローを起票する設定です。フローテンプレートの起動(申請フロー連携)にて設定します。 例えば、稟議書の内容を支払依頼書に自動で連携する場合などに利用します。
2	関連フロー起票	必要に応じて関連するフローを起票できる設定です。 例えば、不就労届の内容を不就労届取消申請に、任意のタイミングで連携し、フローを起票する場合 などに利用します。
3	ファイル出力	フローを申請し、入力した帳票の内容をファイルに出力する設定です。フローテンプレートの起動(システム連携) にて設定します。
4	コマンド/URL	フローの任意のタイミングで、コマンドまたは、URL を実行する設定です。フローテンプレートの 起動(システム連携)にて設定します。
5	データベース書込み	フローを申請し、入力した帳票の内容を外部データベースに登録する設定です。フローテンプレート の起動(システム連携)にて設定します。
6	発行管理連携	フローを申請し、入力した帳票の内容を発行待ちテーブルに登録する設定です。フローテンプレート の起動(システム連携)にて設定します。発行管理オプションを導入している場合に表示されます。
7	期限日設定連携	期限付き業務フローの期限日を変更することができます。フローテンプレートの起動(期限日変更連携)にて設定します。催促メール機能オプションを導入している場合に表示されます。
8	教育デザイナー連携	フローを申請し、教育デザイナーと連携することができます。フローテンプレートの起動(教育デザイナー連携)にて設定します。システム設定時に教育デザイナー連携を「あり」にしている場合に表示されます。

フロー連携定義の利用設定については、[フローテンプレート画面項目編-起動設定] をご参照ください。

フロー連携定義の検索

1. [申請フロー運用] メニュータブの [フロー連携定義] ボタンをクリックする 【フロー連携定義一覧画面の検索条件エリア】

📫 フロー連携定義	義一覧	_ 🗆 X
① _{連携ID}	②連携名	
③連携元帳票ID		
与連携先ID		
7連携種別		検索
		件数 0件

No.	項目名	型	桁数	説明			
1	連携 ID	半角英数 記号	60	連携ID を部分一致で検索します。			
2	連携名	文字	40	連携名を部分一致で検索します。			
3	連携元帳票 ID	半角英数 記号	15	連携元帳票の帳票 ID を部分一致で検索します。			
4	連携元帳票名	文字	60	連携元帳票の帳票名を部分一致で検索します。			
5	連携先 ID	半角英数 記号	128	連携先帳票の帳票 ID または、連携先テーブルに設定されている利用表のテーブル名を部分一致で検索します。			
6	連携先名	文字	80	連携先帳票の帳票名または、連携先テーブルに設定されている利用表のテーブル別名を部分一致で検索します。			
7	連携種別		_	連携種別を以下のリストより選択し、検索します。 ・申請フロー連携 ・関連フロー起票 ・ファイル出力 ・コマンド/URL ・データベース書込み ・発行管理連携 ・期限日設定連携 ・教育デザイナー連携 「申請フロー連携」・「ファイル出力」・「コマンド/URL」・「データベース書込み」は業務フロー連結機能ライセンスを所持している場合のみ表示されます。 「関連フロー起票」は関連フロー起票機能ライセンスを所持している場合のみ表示されます。 「発行管理連携」は発行管理オプションを導入している場合のみ表示されます。 「期限日設定連携」は催促メール機能オプションを導入している場合のみ表示されます。 「期限日設定連携」は催促メール機能オプションを導入している場合のみ表示されます。 「教育デザイナー連携」はシステム設定で教育デザイナー連携が「あり」の場合に表示されます。			

2. 入力後、[検索] ボタンをクリックする

【フロー連携定義一覧画面】



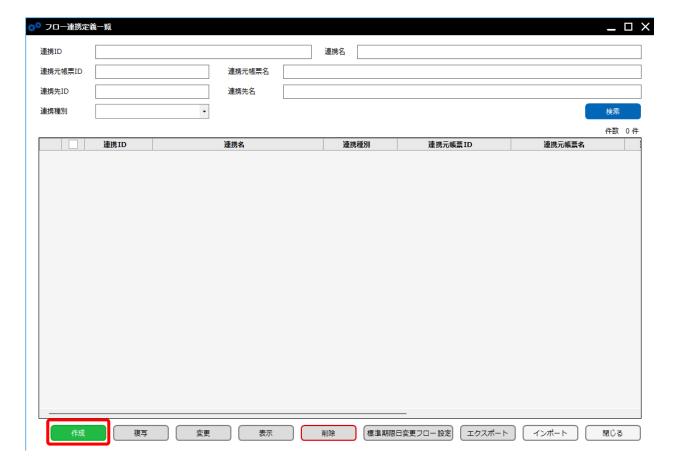
【フロー連携定義一覧画面(連携元帳票名より右側)】

元帳票名	連携先 ID	連携先名	標準期限日変更フロー	最終更新日時	最終更新者
	bd_issue_wait	【発行管理】発行待ちテーブル		2023/07/27 11:20:19	システム 管理者
埋め込み-簡易)	bd_issue_wait	【発行管理】発行待ちテーブル		2023/07/27 14:26:05	システム 管理者
	bd_issue_wait	【発行管理】発行待ちテーブル		2023/07/27 11:20:21	システム 管理者
	bd_issue_wait	【発行管理】発行待ちテーブル		2023/07/27 11:20:21	システム 管理者
埋め込み-簡易-	bd_issue_wait	【発行管理】発行待ちテーブル		2023/07/28 17:27:23	システム 管理者
頼Ver1	P0510001	物品持ち出し申請書Ver01		2021/03/17 14:25:05	小林 宏
申請書Ver01	P0600112	出張届Ver12		2021/03/17 14:25:05	小林 宏
書Ver1	D0060101	個別リリース管理票Ver1	9	2021/03/17 14:32:06	小林 宏
	SYS00001	期限日変更申請書	✓	2023/07/31 14:41:00	システム 管理者
	SYS00002	期限日変更申請書2		2023/07/31 15:27:20	システム 管理者
申請書Ver01	P0600112	出張届Ver12		2023/07/27 17:01:49	システム 管理者

No.	項目名	説明						
1	作成	クリックすると、フロー連携定義設定画面が表示され、新たにフロー連携定義を作成します。						
2	複写	クリックすると、フロー連携定義設定画面が表示され、選択した行のフロー連携定義を複写します。						
3	変更	クリックするとフロー連携定義設定画面が表示され、選択した行のフロー連携定義の内容を変更します。選択した行をダブルクリックした場合も同様です。						
4	表示	クリックするとフロー連携定義設定画面が表示され、選択した行のフロー連携定義の内容を表示します。 ただし、フロー連携定義の編集はできません。						
5	削除	クリックすると、選択した行のフロー連携定義を削除します。						
6	標準期限日変更フロ 一設定	クリックすると、[準備期限日変更フロー] でチェック ON になっている期限日変更フローを準備期限日変更フローとして設定します。 期限日設定連携の連携元に選択されていない帳票の期限日変更申請フローを起票すると、標準期限日変更フローが起票されます。						
7	エクスポート	クリックすると、選択した行のフロー連携定義をファイルにエクスポートします。						
8	インポート	クリックすると、フロー連携定義インポート画面が表示されます。						
9	標準期限日変更フロー	標準期限日変更フローの場合チェック ON になります。						

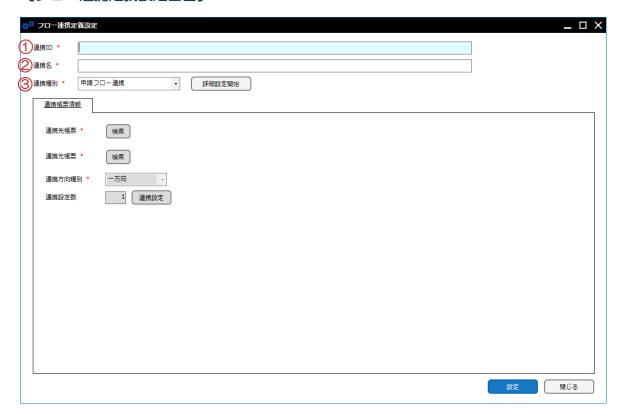
フロー連携定義の作成

1. [作成] ボタンをクリックする



2. 連携種別を決定する

【フロー連携定義設定画面】



【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明
1	連携 ID	半角英数 記号	60	作成するフロー連携定義の連携 ID を入力します。
2	連携名	文字	40	作成するフロー連携定義の連携名を入力します。
3	連携種別	-	-	作成するフローの連携種別を以下のリストより選択します。 ・申請フロー連携 ・関連フロー起票 ・ファイル出力 ・コマンド/URL ・データベース書込み ・発行管理連携
4	詳細設定開始ボタン	-	_	クリックすると、連携帳票情報が入力可能になります。 また、クリック後[連携種別変更]ボタンに変わります。

連携種別を変更する場合

1度決定した連携種別を変更する場合、[連携種別変更] ボタンをクリックしてください。その際、すでに設定されている連携帳票情報などはすべてクリアされます。

【フロー連携定義設定画面】



3. [詳細設定開始] ボタンをクリックする

フロー連携定義では、連携種別によって設定内容が異なります。

設定内容の詳細説明は以下をご参照ください。

申請フロー連携:[申請フロー連携設定] 関連フロー起票:[関連フロー起票設定]

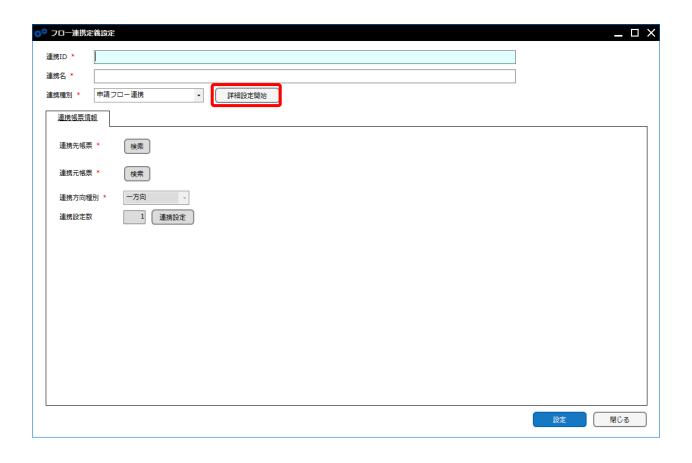
ファイル出力:[ファイル出力設定]

コマンド/URL:[コマンド/URL 設定]

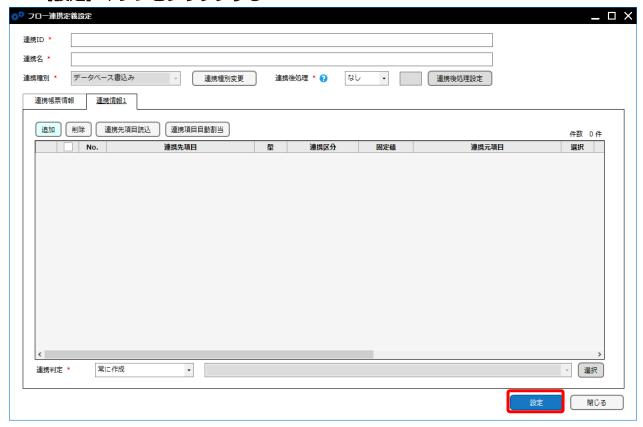
データベース書込み:[データベース書込み設定]

発行管理連携:[発行管理連携設定] 期限日設定連携:[期限日設定連携]

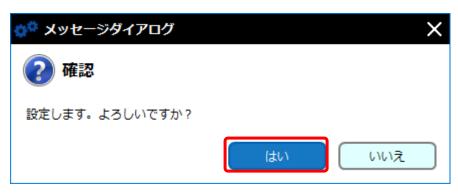
教育デザイナー連携:[教育デザイナー連携]

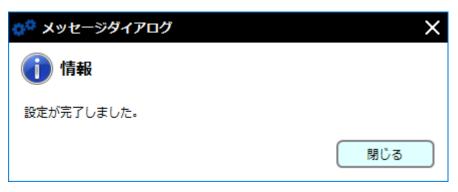


4. [設定] ボタンをクリックする



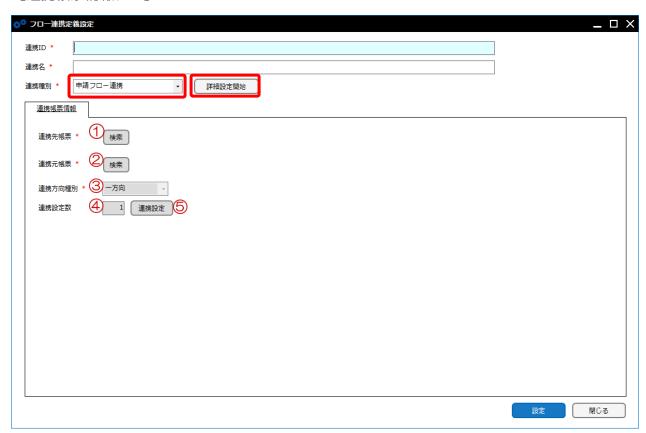
5. [はい] をクリックする





申請フロー連携設定

1. 連携種別を [申請フロー連携] に変更し、[詳細設定開始] ボタンをクリックする 【連携帳票情報タブ】

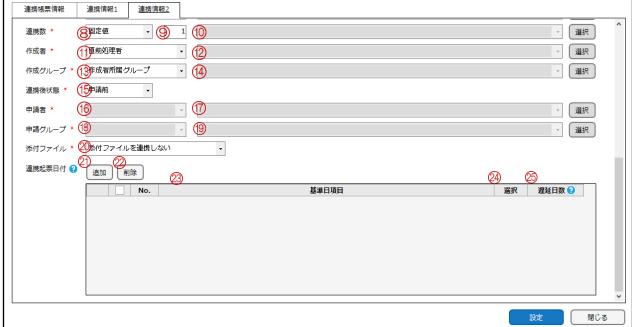


No.	項目名	型	桁数	説明					
1	連携先帳票	_	-	[検索] ボタンをクリックすると、帳票定義一覧画面が表示されます。連携 先の帳票を選択してください。					
2	連携元帳票	_	-	[検索] ボタンをクリックすると、帳票定義一覧画面が表示されます。連携元の帳票を選択してください。					
3	連携方向種別	-	_	「一方向」と「双方向」のいずれかを選択します。 「一方向」は、連携のみで、連携先の帳票の入力内容を再度受け取ることは できません。「双方向」は、受け取ることができます。					
4	連携設定数	数值	3	[連携方向種別]が「一方向」の場合のみ設定することができます。連携設定数を入力します。 ※1~200の範囲で指定可能となります。 ※200件を一度に設定できないので、100件設定後に残りの100件を設定するなど、分割して設定してください。 ※連携設定数が10を超える場合、連携情報タブを表示するのに時間がかかる場合があります。					
5	連携設定	-	-	[連携設定] ボタンをクリックします。連携設定数に応じて連携情報タブが追加されます。 ※[連携設定数] が連携情報タブの数より少ない場合は、すでに設定されている連携情報が削除されます。					

【連携情報Nタブ】

タブの数は連携設定数に対応しています。追加されている連携情報タブは、すべて設定する必要があります。※連携方向種別が[一方向]の場合に表示されます。

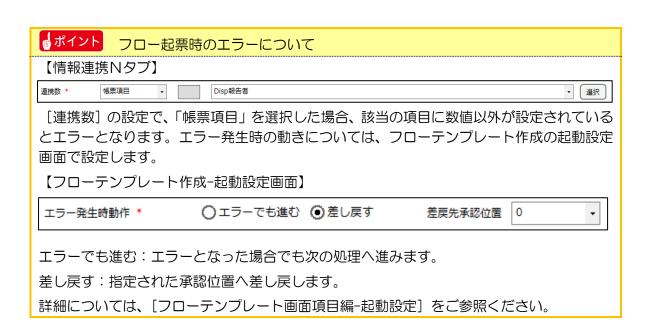




No.	項目名	型	桁数	説明
1	追加	-	-	連携する項目の設定行を、最終行に追加します。
2	削除	-	-	口にチェックした連携項目行を削除します。複数行の削除が可能です。
3	連携先項目読込	-	-	連携先の帳票に設定されている全項目を一覧に表示します。 ※すでに設定されている場合は、設定情報が削除され、連携先項目の再読込 を行います。
4	連携項目自動割当	-	-	[連携先項目] と [連携元項目] の間で項目名が一致する項目を自動で設定 します。
5	連携情報1コピー	-	-	【連携情報 N タブ】が2つ以上の場合に使用することができます。

				【連携情報1タブ】で設定したすべての内容を該当タブにコピーします。
6	連携判定	-	-	連携の判定方法を以下のリストより選択します。 ・常に作成 ・帳票項目より判定 ※「帳票項目より判定」が選択されている場合、連携判定(帳票項目)に値が入っている場合に連携を実施します。
7	連携判定(帳票項目)	-	-	[連携判定] が「帳票項目より判定」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。[選択] ボタンをクリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。
8	連携数	-	-	連携先のフローの数を設定する方法を以下のリストより選択します。「固定値」を選択した場合は、連携数を入力します。 ・固定値 ・帳票項目 ※連携数とは、内容を連携したフローを起票する数のことです。
9	連携数(固定値)	数値	3	[連携数] が「固定値」の場合は、連携数を入力します。
10	連携数(帳票項目)	-	-	[連携数]が「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。[選択]ボタンをクリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。 選択する際、帳票項目の中でも、数字が設定される項目を選択してください。 数字以外が設定されていると、フロー起票時にエラーとなります。
11	作成者	-	-	連携先のフローの作成者を以下のリストより選択します。 ・申請フロー作成者 ・帳票項目 ・直前処理者
12	作成者(帳票項目)	-	-	[作成者] が「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。[選択] ボタンをクリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。 選択する際、帳票項目の中でも、ユーザーIDが設定される項目を選択して ください。ユーザーID以外が設定されていると、フロー起票時にエラーと なります。
13	作成グループ	-	-	連携先のフローの作成グループを以下のリストより選択します。 ・申請フロー作成グループ ・帳票項目 ・作成者所属グループ
14	作成グループ(帳票項目)	-	-	[作成グループ] が「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。 [選択] ボタンをクリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。 選択する際、帳票項目の中でも、グループ I Dが設定される項目を選択して ください。グループ I D以外が設定されていると、フロー起票時にエラーと なります。
15	連携後状態	-	-	連携後のフローの状態を以下のリストより選択します。 ・申請前 ・申請後
16	申請者	-	-	[連携後状態] が「申請後」の場合は、帳票の申請者を以下のリストより選択します。 ・申請フロー作成者 ・帳票項目 ・直前処理者
17	申請者(帳票項目)	-	-	[申請者] が「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。[選択] ボタンをクリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。 選択する際、帳票項目の中でも、ユーザー I Dが設定される項目を選択して ください。ユーザー I D以外が設定されていると、フロー起票時にエラーと なります。
18	申請グループ	-	-	[連携後状態]が「申請後」の場合は、帳票の申請グループを以下のリストより選択します。・申請フロー作成グループ・帳票項目・申請者所属グループ
19	申請グループ(帳票	-	-	[申請グループ] が「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。

	本口)			「図切」だりいたり」、りすると、転車を口図り東子がままかれます
	項目)			[選択] ボタンをクリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。 選択する際、帳票項目の中でも、グループ I Dが設定される項目を選択して
				ください。グループID以外が設定されていると、フロー起票時にエラーと
				なります。
20	添付ファイル	_	_	添付ファイルの連携方法を以下のリストより選択します。
				添付ファイルを連携しない
				・該当帳票の添付ファイルを連携する
				・全ての帳票の添付ファイルを連携する
21	追加	_	-	連携起票日付の設定行を、最終行に追加します。
22	削除	_	_	□にチェックした連携起票日付行を削除します。複数行の削除が可能です。
23	基準日項目	_	-	連携元帳票の帳票項目がリスト表示されます。基準日となる項目を選択しま
				す。選択する際、帳票項目の中でも、日付が設定される項目を選択してくだ
				さい。日付以外が設定されていると、フロー起票時にエラーとなります。
24	選択	_	_	クリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。
	~_3, (
25	遅延日数	数値	3	-99~99 の日数が指定可能です。選択した基準日項目に設定された日付か
				ら、遅延日数後にフローが起票されます。マイナスで入力した場合は、日数
				前に起票されます。



【連携情報 N タブ (連携先項目一覧)】

		(1)	2	3	4	⑤	6	
No. 連携先項目		選択		·		連携元項目			
	1			→ 選択	帳票項	■ •			·
7	8	9	10	11)	12		13	(14)	(15)
選択	型	承認位置	切取	切取開始	切取文字数	2	空変換	空変換文字	全角変換
選択		-	なし・			なし	-		なし・

No.	項目名	型	桁数	説明	
1	連携先項目	-	-	帳票項目がリスト表示されます。連携先帳票の項目を選択します。 連携先項目に「印鑑リンク」を設定時は、連携元項目には「印鑑」 ンク」のみ設定可能になります。	「印鑑リ

2	選択	-	-	クリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。選択画面より帳票項目 を選択します。
3	型	_	-	連携先項目に選択した帳票項目の型が表示されます。「文字」、「数値」、「日付」、 「日時」、「時刻」、「印鑑」のいずれかが表示されます。
4	連携区分	-	-	連携先項目に連携する内容を以下のリストより選択します。 ・帳票項目 ・固定値 ・申請フローID ・帳票 ID ・管理帳票 ID ・履歴番号 ・承認者 ID ・承認者名 ・承認日
5	固定値	文字	255	[連携区分] が「固定値」の場合に入力します。
6	連携元項目	_	-	[連携区分] が「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。
7	選択	-	-	[連携区分] が「帳票項目」の場合は、クリックすると帳票項目選択画面が表示されます。
8	型	-	_	選択された帳票元項目の型が表示されます。「文字」、「数値」、「日付」、「日時」、「時刻」、「印鑑」のいずれかが表示されます。
9	承認位置	-	_	[連携区分] が「承認者 ID」、「承認者名」、「承認日」のいずれかの場合に選択します。 選択した承認位置の承認情報が連携されます。
10	切取	-	_	[連携区分] が「固定値」以外の場合は、連携する値をそのまま連携するか、 切り取って連携するかを選択します。 ・なし ・あり
11	切取開始	数値	5	[切取] が「あり」の場合は、切り取りを開始する桁数を入力します。 入力可能な値の範囲は-9999~9999(Oは除く)で、マイナスを指定した 場合は、末尾からマイナスした位置を開始とします。
12	切取文字数	数值	4	[切取] が「あり」の場合は、切り取る文字数を入力します。
13	空変換	-	-	[連携区分] が「固定値」以外の場合は、以下のリストより選択します。 ・なし ・あり(固定) ・あり(上位コピー)
14	空変換文字	文字	255	[空変換] が「あり(固定)」の場合は、変換後に設定する文字を入力します。
15	全角変換	-	-	[連携区分] が「固定値」以外の場合は、連携される値を全角変換するかを 選択します。 ・なし ・あり

【連携情報(元→先)タブ】

連携方向種別が[双方向]の場合に表示されます。

項目内容は、[申請フロー連携設定] の[連携情報 N タブ]、[連携情報 N タブ] (連携先項目一覧)] をご参照ください。

【連携情報(先→元)タブ】

連携方向種別が[双方向]の場合に表示されます。

項目内容は、[申請フロー連携設定] の[連携情報 N タブ]、[連携情報 N タブ] (連携先項目一覧)] をご参照ください。

連携先項目の最大長、桁数が連携元項目より少ない場合の連携について 連携先項目の最大長または桁数が、連携元項目の最大長や桁数より少ない場合は 連携先項目の設定値で値が切り取られて連携されます。

【連携項目がテキストの場合】

<連携元帳票設定>

最大長 *	25	行数 * 1	1行の文字数 *	25
-------	----	--------	----------	----

<連携先帳票設定>

最大長 *	20	行数 * 1	1行の文字数 *	20
-------	----	--------	----------	----

連携元帳票の項目に25文字入力されている場合、連携先帳票には20文字で切り取られて連携されます。文字の前方から最大長分が連携されます。

<連携元帳票>

<連携先帳票>

テキスト_25文字

あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねの

テキスト_20文字

あいうえおかきくけこさしすせそたちつてと

【連携項目が数値の場合】

く連携元帳票設定>

整数部桁数 * 5 小数部桁	数 * 2	符号 *	あり・	
----------------	-------	------	-----	--

<連携先帳票設定>

整数部桁数 * 3 小数部桁数 * 1 符号 * あり ▽

連携元帳票の項目に整数部桁数5、小数部桁数2の数値が入力されている場合、連携先帳票には整数部3、小数部桁数1の数値で連携されます。整数部は1の位から百の位まで、小数部は少数第一位の値を数値として連携します。また符号も連携先の設定で表示されます。

<連携元帳票>

数値(整数5:少数2 符号あり)

-12,345.67

<連携先帳票>

数値(整数3:少数1 符号なし)

345.6

連携元帳票の項目の文字数・桁数と連携先帳票の項目の文字数・桁数などは同じとなるよう 設定してください。

※申請フロー連携・関連フロー起票が該当となります

関連フロー起票設定

1. 連携種別を [関連フロー起票] に変更し、[詳細設定開始] ボタンをクリックする

☆☆ フロー連携	=義設定	×
連携ID *	TODOHUKEN	
連携名 *	都道府県マスター]
連携種別 *	関連フロー起票 ・ 詳細設定開始	
【連携帳	票情報タブ】	
連携帳票情報	連携情報1	
1 連携先帳票 *	検索 P0600112 出張届Ver12	



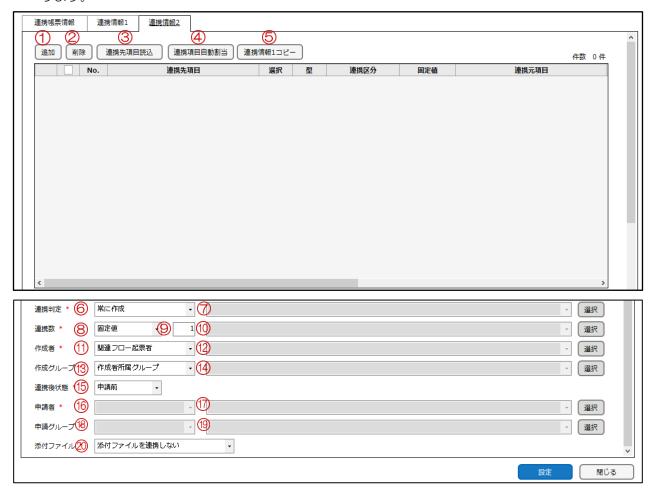
No.	項目名	型	桁数	説明
1	連携先帳票	_	_	[検索] ボタンをクリックすると、帳票定義一覧画面が表示されます。連携 先の帳票を選択してください。
2	連携元帳票	_	_	[検索] ボタンをクリックすると、帳票定義一覧画面が表示されます。連携元の帳票を選択してください。
3	連携設定数	数值	3	連携設定数を入力します(次の[連携設定ボタン]で使用します)。 ※1~200の範囲で指定可能となります。 ※200件を一度に設定できないので、100件設定後に残りの100件を設定するなど、分割して設定してください。 ※連携設定数が10を超える場合、連携情報タブを表示するのに時間がかかる場合があります。
4	連携設定ボタン	-	-	クリックすると、[連携設定数]入力した数だけ連携情報タブが表示されます。 ※ [連携設定数] が連携情報タブの数より少ない場合は、すでに設定されている連携情報が削除されます。
5	関連フロー起票者	-	-	関連フロー起票が可能なユーザーを選択することができます。 ・連携元の参照権限あり ・連携元の申請フロー作成グループに所属 ・連携元の申請フロー作成者 ・連携先の新規申請権限あり
6	連携元フロー状態	-	-	関連フロー起票の起票可能なタイミングを選択することができます。 ・終了 ・運用中+終了

7	連携対象フロー	_	_	[連携先帳票] に選択した帳票を利用しているフローテンプレートと帳票の
				管理帳票 ID・タイトルが表示されます。[関連フロー起票] を利用して起票
				したいフローテンプレートにチェックを入力します(複数可)。
				WEB 画面で〔連携元帳票〕に選択した帳票を表示すると、〔関連フロー起票
				ボタン] が表示され、連携先帳票に値を連携して申請フローを起票できるよ
				うになります。

連携対象フローの設定について 連携対象フローに選択可能なフローテンプレートは、[連携先帳票] に選択した帳票がフローの先頭に位置している必要があります。 設定可能なフローの例 迎携先帳票 (他の帳票) 承認 (他の帳票)

【連携情報Nタブ】

タブの数は連携設定数に対応しています。追加されている連携情報タブは、すべて設定する必要があります。



	197.11						
No.	項目名	型	桁数	説明			
1	追加	-	-	連携する項目の設定行を、最終行に追加します。			
2	削除	-	-	□にチェックした連携項目行を削除します。複数行の削除が可能です。			
3	連携先項目読込	-	-	連携先の帳票に設定されている全項目を一覧に表示します。 ※すでに設定されている場合は、設定情報が削除され、連携先項目の再読込 を行います。			
4	連携項目自動割当	-	-	[連携先項目] と [連携元項目] の間で項目名が一致する項目を自動で設定 します。			
5	連携情報 1 コピー	-	_	【連携情報 N タブ】が2つ以上の場合に使用することができます。 【連携情報 1 タブ】で設定したすべての内容を該当タブにコピーします。			
6	連携判定	-	-	連携の判定方法を以下のリストより選択します。 ・常に作成 ・帳票項目より判定 ※「帳票項目より判定」が選択されている場合、連携判定(帳票項目)に値が入っている場合に連携を実施します。			
7	連携判定(帳票項目)	-	-	[連携判定] が「帳票項目より判定」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。[選択] ボタンをクリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。			
8	連携数	-	-	連携先のフローの数を設定する方法を以下のリストより選択します。「固定値」を選択した場合は、連携数を入力します。			

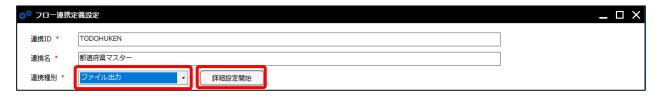
・	
15.53.53.	、内容を連携したフローを起票する数のことです。
	「固定値」の場合は、連携数を入力します。
	「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。[選択]
	ックすると、帳票項目選択画面が表示されます。 長票項目の中でも、数字が設定される項目を選択してください。
	定されていると、フロー起票時にエラーとなります。
	一の作成者を以下のリストより選択します。
・申請フロー	作成者
・関連フロー	起票者
・帳票項目	
	「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。「選択」
	ックすると、帳票項目選択画面が表示されます。
	帳票項目の中でも、ユーザーIDが設定される項目を選択して ーザーID以外が設定されていると、フロー起票時にエラーと
なります。	フーレめ/P/J DXACC11 CVIOC、フロー起来的にエクーC
	一の作成グループを以下のリストより選択します。
・申請フロー	作成グループ
• 帳票項目	
• 作成者所属:	
	プ」が「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。
	ンをクリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。
	帳票項目の中でも、グループIDが設定される項目を選択して ループID以外が設定されていると、フロー起票時にエラーと
なります。	D J I D D J P J D D D D D D D D D D D D D D D
15 連携後状態 連携後のフロ・	ーの状態を以下のリストより選択します。
• 申請前	
・申請後	
	」が「申請後」の場合は、帳票の申請者を以下のリストより選
	//cct:+×
・中間フロー・関連フロー	· · · · · —
- Magazia - Ma	
17 申請者(帳票項目) [申請者]が	「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。[選択]
ボタンをクリ	ックすると、帳票項目選択画面が表示されます。
	帳票項目の中でも、ユーザーIDが設定される項目を選択して
	ーザーID以外が設定されていると、フロー起票時にエラーと
なります。	
18 申請グループ - [連携後状態]] が「申請後」の場合は、帳票の申請グループを以下のリスト オ
・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
・申請者所属	グループ
19 申請グループ (帳票 [申請グルー]	プ]が「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。
	ンをクリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。
	帳票項目の中でも、グループIDが設定される項目を選択して
	ループID以外が設定されていると、フロー起票時にエラーと
	ルを連携しない
	で 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
全ての帳票	の添付ファイルを連携する

【連携情報Nタブ(連携先項目一覧)】

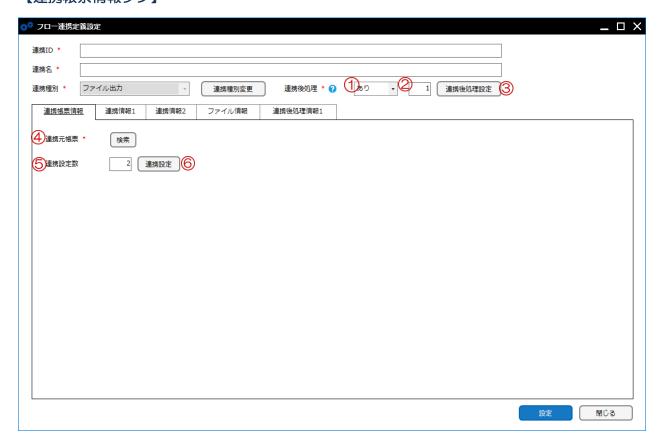
[申請フロー連携設定] の [連携情報Nタブ (連携先項目一覧)] をご参照ください。

ファイル出力設定

1. 連携種別を [ファイル出力] に変更し、[詳細設定開始] ボタンをクリックする



【連携帳票情報タブ】

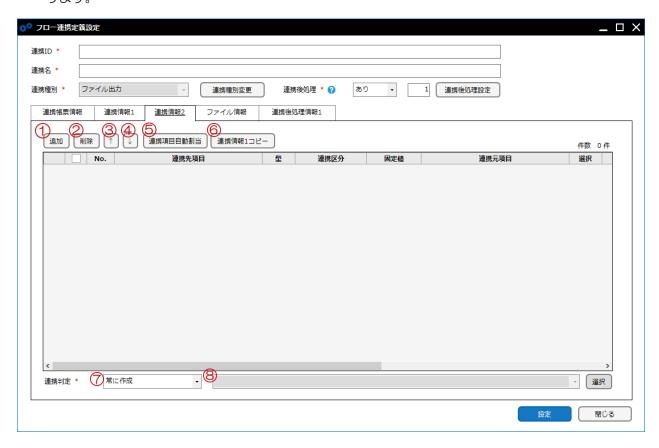


No.	項目名	型	桁数	説明
1	連携後処理	-	-	連携後の処理の有無を選択します。 ・あり ・なし ※「あり」の状態から「なし」に変更すると、すでに設定されている連携後 処理情報はすべて削除されます。
2	連携後処理数	数値	2	[連携後処理] を「あり」と選択した場合は、連携後処理数を入力します。
3	連携後処理設定	-	-	クリックすると、連携後処理数に応じて、連携後処理情報タブが追加されます。 ※[連携後処理数]が連携後処理情報タブの数より少ない場合は、すでに設定されている連携後処理情報が削除されます。
4	連携元帳票	_	-	[検索] ボタンをクリックすると、帳票定義一覧画面が表示されます。

5	連携設定数	数值	3	連携設定数を入力します。 ※1~200 の範囲で指定可能となります。 ※200 件を一度に設定できないので、100 件設定後に残りの 100 件を設定するなど、分割して設定してください。 ※連携設定数が 10 を超える場合、連携情報タブを表示するのに時間がかかる場合があります。
6	連携設定	-	_	[連携設定] ボタンをクリックします。連携設定数に応じて、連携情報タブが追加されます。 ※[連携設定数] が連携情報タブの数より少ない場合は、すでに設定されている連携情報が削除されます。

【連携情報Nタブ】

タブの数は連携設定数に対応しています。追加されている連携情報タブは、すべて設定する必要があります。



No.	項目名	説明
1	追加	連携する項目の設定行を、最終行に追加します。
2	削除	口にチェックした連携項目行を削除します。複数行の削除が可能です。
3	↑	ロにチェックした連携項目行を1行上に移動します。複数行の移動が可能です。
4	↓	ロにチェックした連携項目行を1行下に移動します。複数行の移動が可能です。
5	連携項目自動割当	[連携先項目] と [連携元項目] の間で項目名が一致する項目を自動で設定します。
6	連携情報1コピー	【連携情報 N タブ】が2つ以上の場合に使用することができます。 【連携情報 1 タブ】で設定したすべての内容を該当タブにコピーします。

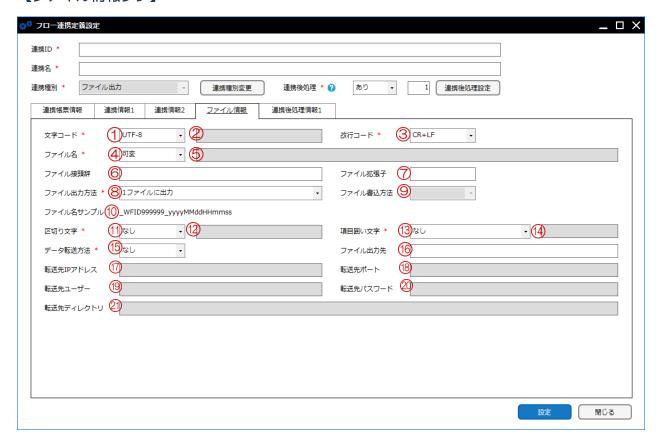
•	7	連携判定	連携の判定方法を以下のリストより選択します。 ・常に作成 ・帳票項目より判定 ※「帳票項目より判定」が選択されている場合、連携判定(帳票項目)に値が入っている場合に連携を実施します。
	8	連携判定(帳票項目)	[連携判定] が「帳票項目より判定」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。[選択] ボタンをクリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。

【連携情報Nタブ(連携先項目一覧)】 **⑤** 連携元項目 ③ 連携区分 **4** 固定値 直携先項目 No. 型 帳票項目 文字 6 7 8 9 10 (11) 12 (13) (14) 選択 型 承認位置 切取 切取開始 切取文字数 空変換 空変換文字 全角変換 選択 ▼ なし なし なし

	5-3-1-1-2-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1				
No.	· 項目名 	_ 型 ·	桁数 	· 説明 	
1	連携先項目	文字	255	連携先項目に付ける名称を入力します。	
2	型	-	-	[連携先項目] の型が表示されます。「文字」固定になります。	
3	連携区分	-	-	連携先項目に連携する内容を以下のリストより選択します。 ・帳票項目 ・固定値 ・申請フローID ・帳票 ID ・管理帳票 ID ・履歴番号 ・承認者 ID ・承認者名 ・承認日 ・改行 ・連番	
4	固定値	文字	255	[連携区分] が「固定値」の場合に入力します。	
5	連携元項目	-	-	[連携区分] が「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。	
6	選択	-	-	[連携区分] が「帳票項目」の場合は、クリックすると帳票項目選択画面が表示されます。	
7	型	-	-	選択された帳票元項目の型が表示されます。「文字」、「数値」、「日付」、「日時」、「時刻」のいずれかが表示されます。	
8	承認位置	_	-	[連携区分] が「承認者 ID」、「承認者名」、「承認日」のいずれかの場合に選択します。 選択した承認位置の承認情報が連携されます。	
9	切取	-	-	[連携区分]が「固定値」以外の場合は、連携する値をそのまま連携するか、切り取って連携するかを選択します。・なし・あり	
10	切取開始	数値	5	[切取] が「あり」の場合は、切り取りを開始する桁数を入力します。 入力可能な値の範囲は-9999〜9999(O は除く)で、マイナスを指定した 場合は、末尾からマイナスした位置を開始とします。	
11	切取文字数	数值	4	[切取] が「あり」の場合は、切り取る文字数を入力します。	

12	空変換	-	-	[連携区分] が「固定値」以外の場合は、以下のリストより選択します。 ・なし ・あり(固定) ・あり(上位コピー)
13	空変換文字	文字	255	[空変換] が「あり(固定)」の場合は、変換後に設定する文字を入力します。
14	全角変換	-	-	[連携区分] が「固定値」以外の場合は、連携される値を全角変換するかを 選択します。 ・なし ・あり

【ファイル情報タブ】



No.	項目名	型	桁数	説明
1	文字コード	-	-	文字コードを以下のリストより選択します。 ・SJIS ・EUC-JP ・UTF-8 ・その他
2	文字コード(その他)	文字	32	[文字コード] が「その他」の場合は、文字コードを入力します。
3	改行コード	-	-	改行コードを以下のリストより選択します。 ・CR+LF ・LF ・CR
4	ファイル名	-	-	ファイル名を決定する方法を以下のリストより選択します。 ・可変

				• 固定
5	ファイル名(固定)	文字	255	[ファイル名] が「固定」の場合は、ファイル名を入力します。
6	ファイル接頭辞	文字	16	[ファイル名] が「可変」の場合は、ファイル名の先頭の文字を入力します。
7	ファイル拡張子	文字	5	ファイルの拡張子を入力します。
8	ファイル出力方法	-	-	ファイル出力の方法を以下のリストより選択します。 1ファイルに出力連携情報分ファイル出力
9	ファイル書込方法	_	_	[ファイル名] が「固定」かつ [データ転送方法] が「なし」の場合は、ファイル書込みの方法を以下のリストより選択します。 ・追記 ・上書き
10	ファイル名サンプル	_	-	出力されるファイル名のサンプルが表示されます。
11	区切り文字	-	-	区切り文字の種類を以下のリストより選択します。 ・なし ・カンマ ・タブ ・改行 ・その他
12	区切り文字(その他)	文字	10	[区切り文字] が「その他」の場合は、区切り文字を入力します。
13	項目囲い文字	-	-	項目を囲う文字の種類を以下のリストより選択します。 ・なし ・シングルクォーテーション ・ダブルクォーテーション ・その他
14	項目囲い文字(その 他)	文字	10	[項目囲い文字] が「その他」の場合は、囲い文字を入力します。
15	データ転送方法	-	-	データ転送の方法を以下のリストより選択します。 ・なし ・FTP
16	ファイル出力先	文字	255	[データ転送方法] が「なし」の場合は、ファイルの出力先を入力します。
17	転送先 IP アドレス	半角英数 記号	255	[データ転送方法] が「FTP」の場合は、転送先の IP アドレスを入力します。
18	転送先ポート	数値	10	[データ転送方法] が「FTP」の場合は、転送先のポートを入力します。
19	転送先ユーザー	半角英数 記号	32	[データ転送方法] が「FTP」の場合は、転送先のユーザー名を入力します。
20	転送先パスワード	文字	100	[データ転送方法] が「FTP」の場合は、転送先のパスワードを入力します。
21	転送先ディレクトリ	文字	255	[データ転送方法] が「FTP」の場合は、転送先のディレクトリを入力します。

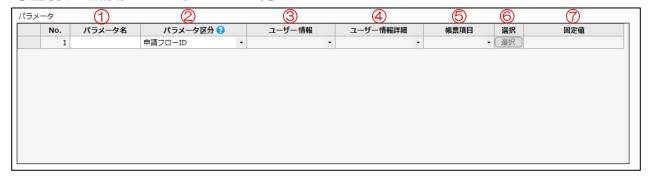
【連携後処理情報 N タブ】

連携後処理がありの場合に設定します。タブの数は連携後処理数に対応しています。



No.	項目名	型	桁数	説明		
1	処理名	文字	255	処理の名前を入力します。		
2	実行コマンド区分	_	-	実行コマンドの種類を以下のリストより選択します。 ・URL ・コマンド		
3	実行コマンド	文字	255	実行コマンドを入力します。		
4	戻り値	-	-	戻り値の有無を以下のリストより選択します。 ・あり ・なし		
5	正常時戻り値	文字	32	[戻り値] が「あり」の場合は、正常時の戻り値を入力します。		
6	エラーメッセージ	文字	240	[戻り値]が「あり」の場合は、エラーメッセージを入力します。		
7	連携メッセージ追記	-	-	連携メッセージの追記の有無を以下のリストより選択します。 しないする		
8	タイムアウト(秒)	数值	4	タイムアウトまでの秒数を入力します。		
9	パラメータ数	数值	2	パラメータ数を入力します。		
10	パラメータ設定	-	-	[パラメータ設定] ボタンをクリックすると、パラメータに入力された数分、 パラメータ行が表示されます。		

【連携後処理情報Nタブ (パラメータ)】



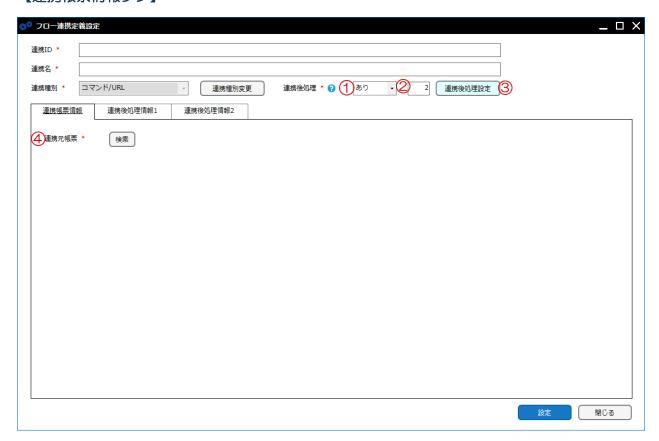
No.	項目名	型	桁数	説明
1	パラメータ名	文字	32	実行コマンドが URL の場合は入力します。 ※実行コマンドがコマンドの場合は表示されません。
2	パラメータ区分	-	-	パラメータの区分を以下のリストより選択します。 ・申請フローID ・連携ファイル名(代表のみ) ・帳票 ID ・管理帳票 ID ・履歴番号 ・処理 No. ・連携 ID ・フロー項目 ID ・ユーザー情報 ・帳票項目 ・固定値
3	ユーザー情報	-	-	[パラメータ区分] が「ユーザー情報」の場合は、設定するユーザー情報を以下のリストより選択します。 ・申請フロー作成者 ・直前処理者
4	ユーザー情報詳細	-	-	[パラメータ区分] が「ユーザー情報」の場合は、設定するユーザー情報詳細を以下のリストより選択します。 ・ユーザーID ・姓(漢字) ・名(漢字) ・ユーザー名(漢字) ・姓(カナ) ・名(カナ) ・メールアドレス
5	帳票項目	-	_	[パラメータ区分] が「帳票項目」の場合は、帳票項目のリストより選択します。
6	選択	-	-	[パラメータ区分] が「帳票項目」の場合、クリックすると帳票項目選択画面が表示されます。[選択] ボタンをクリックできます。
7	固定値	文字	255	[パラメータ区分] が「固定値」の場合は入力します。

コマンド/URL 設定

1. 連携種別を [コマンド/URL] に変更し、[詳細設定開始] ボタンをクリックする

☆☆ フロー連携が	主義設定	X
連携ID *	TODOHUKEN	
連携名 *	都道府県マスター	
連携種別 *	コマンド/URL 詳細設定開始	

【連携帳票情報タブ】



【項目の説明】

No.	項目名	型	桁数	説明	
1	連携後処理	-	-	連携後の処理の有無を選択します。 ・あり ・なし ※「あり」の状態から「なし」に変更すると、すでに設定されている連携後 処理情報はすべて削除されます。	
2	連携後処理数	数值	2	[連携後処理] を「あり」と選択した場合は、連携後処理数を入力します。	
3	連携後処理設定	-	-	クリックすると、連携後処理数に応じて、連携後処理情報タブが追加されます。 ※[連携後処理数]が連携後処理情報タブの数より少ない場合は、すでに設定されている連携後処理情報が削除されます。	
4	連携元帳票	-	-	[検索] ボタンをクリックすると、帳票定義一覧画面が表示されます。	

【連携後処理情報Nタブ】

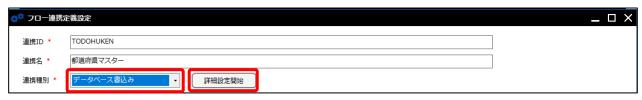
[ファイル出力設定]の[連携後処理情報Nタブ]をご参照ください。

【連携後処理情報Nタブ (パラメータ)】

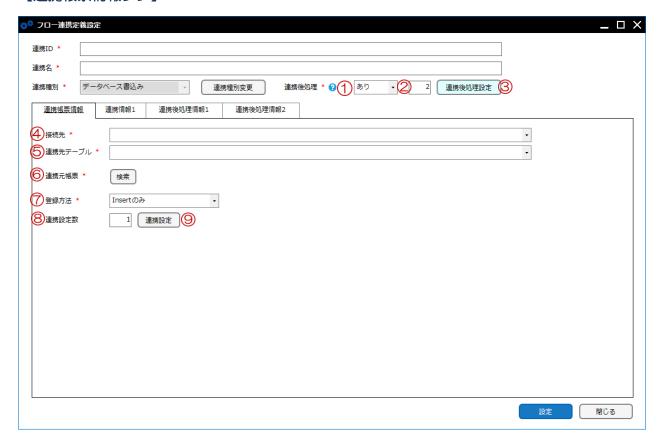
[ファイル出力設定] の [連携後処理情報 Nタブ (パラメータ)] をご参照ください。

データベース書込み設定

1. 連携種別を [データベース書込み] に変更し、[詳細設定開始] ボタンをクリックする



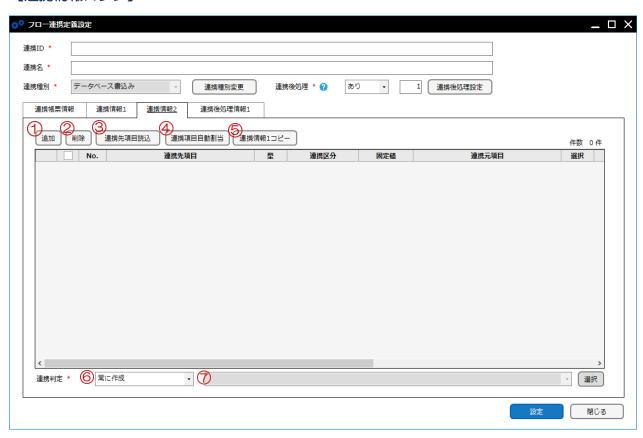
【連携帳票情報タブ】



No.	項目名	型	桁数	説明		
1	連携後処理	-	-	連携後の処理の有無を選択します。 ・あり ・なし ※「あり」の状態から「なし」に変更すると、すでに設定されている連携後 処理情報はすべて削除されます。		
2	連携後処理数	数值	2	[連携後処理] を「あり」と選択した場合は、連携後処理数を入力します。		
3	連携後処理設定	_	-	クリックすると、連携後処理数に応じて、連携後処理情報タブが追加されます。 ※[連携後処理数]が連携後処理情報タブの数より少ない場合は、すでに設		

				定されている連携後処理情報が削除されます。
4	接続先	-	-	外部データ接続情報で設定した接続先がリスト表示されます。書き込みを行う接続先を選択します。
5	連携先テーブル	-	-	[接続先] に対して登録されている利用表情報をリスト表示します。書き込みを行うテーブル名を選択します。
6	連携元帳票	_	-	[検索] ボタンをクリックすると、帳票定義一覧画面が表示されます。
7	登録方法	-	-	登録の方法を以下のリストより選択します。 ・Insert のみ ・DeleteInsert(キーで検索) 「Insert」を選択し、すでに同キーのデータが登録済の場合、エラーとなります。「DeleteInsert」を選択した場合は、同キーの削除後、Insert を行います。
8	連携設定数	数值	3	連携設定数を入力します。 ※1~200 の範囲で指定可能となります。 ※200 件を一度に設定できないので、100 件設定後に残りの 100 件を設定するなど、分割して設定してください。 ※連携設定数が 10 を超える場合、連携情報タブを表示するのに時間がかかる場合があります。
9	連携設定	-	_	[連携設定] ボタンをクリックします。連携設定数に応じて、連携情報タブが追加されます。 ※[連携設定数] が連携情報タブの数より少ない場合は、すでに設定されている連携情報が削除されます。

【連携情報Nタブ】



【項目の説明】

No.	項目名	説明
1	追加	連携する項目の設定行を、最終行に追加します。
2	削除	口にチェックした連携項目行を削除します。複数行の削除が可能です。
3	連携先項目読込	連携先の帳票に設定されている全項目を一覧に表示します。 ※すでに設定されている場合は、設定情報が削除され、連携先項目の再読込を行います。
4	連携項目自動割当	[連携先項目] と [連携元項目] の間で項目名が一致する項目を自動で設定します。
5	連携情報1コピー	【連携情報 N タブ】が2つ以上の場合に使用することができます。 【連携情報 1 タブ】で設定したすべての内容を該当タブにコピーします。
6	連携判定	連携の判定方法を選択します。 ・常に作成 ・帳票項目より判定 ※「帳票項目より判定」が選択されている場合、連携判定(帳票項目)に値が入っている場合に連携を実施します。
7	連携判定(帳票項目)	[連携判定]が「帳票項目より判定」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。[選択] ボタンをクリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。

【連携情報Nタブ(連携先項目一覧)】

EXT.1731	1311117	> (XL)	<u>(1)</u>	96/2	2	3	(4)	D.	(5)		
	No.	ì	携先項目		型	連携区分			連携元	頁目	
	1			•		帳票項目	-				•
6	7	8	9	10		11)	12		(13)	14)	
選択	型	承認位置	切取	切取開	始切	取文字数	空変換	Þ	空変換文字	全角変換	
選択			なし	-						なし	_

No.	項目名	型	桁数	説明
1	連携先項目	-	-	接続先のカラム名を選択します。
2	型	-	-	選択したカラムの型が表示されます。「文字」、「数値」、「日付」、「日時」、「時刻」のいずれかが表示されます。
3	連携区分	-	-	 連携先項目に連携する内容を以下のリストより選択します。 ・帳票項目 ・固定値 ・申請フローID ・帳票 ID ・管理帳票 ID ・履歴番号 ・承認者 ID ・承認者名 ・承認日 ・改行 ・連番
4	固定値	文字	255	[連携区分] が「固定値」の場合に入力します。
5	連携元項目	_	-	[連携区分] が「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。
6	選択	-	-	[連携区分] が「帳票項目」の場合は、クリックすると帳票項目選択画面が表示されます。
7	型	-	-	選択された帳票元項目の型が表示されます。「文字」、「数値」、「日付」、「日時」、「時刻」のいずれかが表示されます。

8	承認位置	-	-	[連携区分] が「承認者 ID」、「承認者名」、「承認日」のいずれかの場合に選択します。 選択した承認位置の承認情報が連携されます。
9	切取	-	-	[連携区分]が「固定値」以外の場合は、連携する値をそのまま連携するか、 切り取って連携するかを選択します。 ・なし ・あり
10	切取開始	数値	5	[切取] が「あり」の場合は、切り取りを開始する桁数を入力します。 入力可能な値の範囲は-9999〜9999(O は除く)で、マイナスを指定した 場合は、末尾からマイナスした位置を開始とします。
11	切取文字数	数值	4	[切取] が「あり」の場合は、切り取る文字数を入力します。
12	空変換	-	-	[連携区分] が「固定値」以外の場合は、以下のリストより選択します。 ・なし ・あり(固定) ・あり(上位コピー)
13	空変換文字	文字	255	[空変換] が「あり(固定)」の場合は、変換後に設定する文字を入力します。
14	全角変換	-	-	[連携区分] が「固定値」以外の場合は、連携される値を全角変換するかを 選択します。 ・なし ・あり

【連携後処理情報Nタブ】

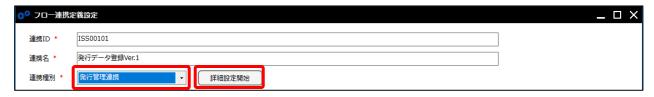
[ファイル出力設定] の [連携後処理情報Nタブ] をご参照ください。

【連携後処理情報Nタブ (パラメータ)】

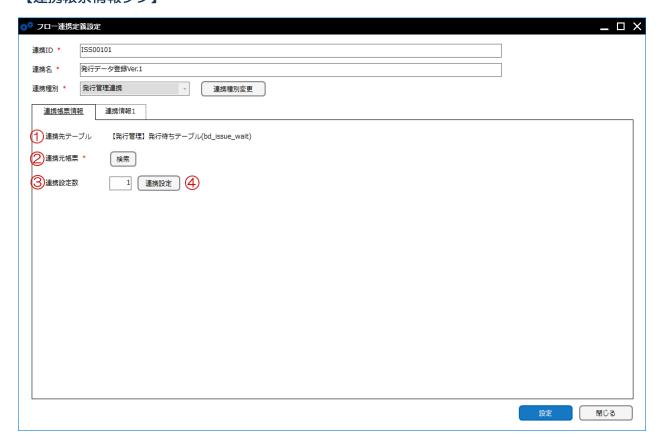
[ファイル出力設定] の [連携後処理情報Nタブ (パラメータ)] をご参照ください。

発行管理連携設定

1. 連携種別を [発行管理連携] に変更し、[詳細設定開始] ボタンをクリックする

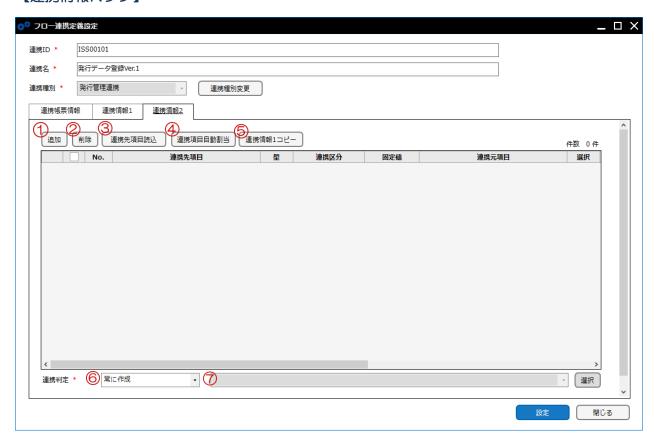


【連携帳票情報タブ】



No.	項目名	型	桁数	説明
1	連携先テーブル	-	-	書き込みを行うテーブル名を表示しています。
2	連携元帳票	-	-	[検索]ボタンをクリックすると、帳票定義一覧画面が表示されます。
3	連携設定数	数值	3	連携設定数を入力します。 ※1~200 の範囲で指定可能となります。 ※200 件を一度に設定できないので、100 件設定後に残りの 100 件を設定するなど、分割して設定してください。 ※連携設定数が 10 を超える場合、連携情報タブを表示するのに時間がかかる場合があります。
4	連携設定	_	-	[連携設定] ボタンをクリックします。連携設定数に応じて、連携情報タブが追加されます。 ※[連携設定数] が連携情報タブの数より少ない場合は、すでに設定されている連携情報が削除されます。

【連携情報Nタブ】



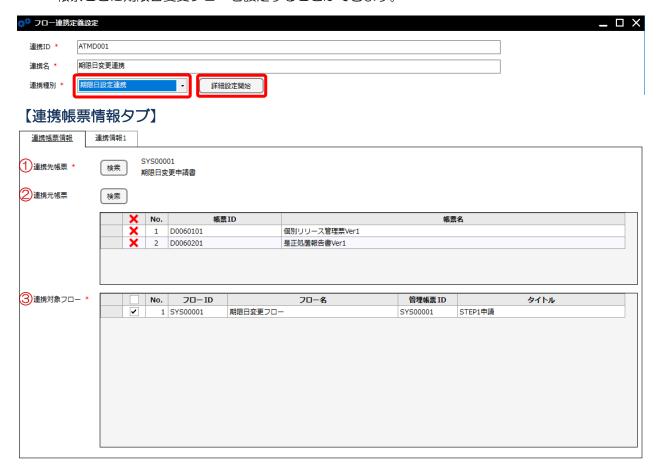
No.	項目名	· 説明
1	追加	連携する項目の設定行を、最終行に追加します。
2	削除	口にチェックした連携項目行を削除します。複数行の削除が可能です。
3	連携先項目読込	連携先の帳票に設定されている全項目を一覧に表示します。 ※すでに設定されている場合は、設定情報が削除され、連携先項目の再読込を行います。
4	連携項目自動割当	[連携先項目] と [連携元項目] の間で項目名が一致する項目を自動で設定します。
5	連携情報1コピー	【連携情報 N タブ】が2つ以上の場合に使用することができます。 【連携情報 1 タブ】で設定したすべての内容を該当タブにコピーします。
6	連携判定	連携の判定方法を選択します。 ・常に作成 ・帳票項目より判定 ※「帳票項目より判定」が選択されている場合、連携判定(帳票項目)に値が入っている場合に連携を実施します。
7	連携判定(帳票項目)	[連携判定]が「帳票項目より判定」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。[選択] ボタンをクリックすると、帳票項目選択画面が表示されます。



No.	り 記り 項目名	型	桁数	説明
1	連携先項目	-	-	連携先テーブルのカラム名を選択します。
2	型	-	-	選択したカラムの型が表示されます。「文字」、「数値」、「日付」、「日時」、「時刻」のいずれかが表示されます。
3	連携区分	-	-	 連携先項目に連携する内容を以下のリストより選択します。 ・帳票項目 ・固定値 ・申請フローID ・帳票 ID ・管理帳票 ID ・処理 NO ・履歴番号 ・承認者 ID ・承認者名 ・承認日 ・改行 ・連番
4	固定値	文字	255	[連携区分] が「固定値」の場合に入力します。
5	連携元項目	_	-	[連携区分] が「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。
6	選択	-	-	[連携区分] が「帳票項目」の場合は、クリックすると帳票項目選択画面が表示されます。
7	型	-	-	選択された帳票元項目の型が表示されます。「文字」、「数値」、「日付」、「日時」、「時刻」のいずれかが表示されます。
8	承認位置	-	_	[連携区分] が「承認者 ID」、「承認者名」、「承認日」のいずれかの場合に選択します。 選択した承認位置の承認情報が連携されます。
9	切取	-	-	[連携区分]が「固定値」、「改行」、「連番」以外の場合は、連携する値をそのまま連携するか、切り取って連携するかを選択します。 ・なし ・あり
10	切取開始	数値	5	[切取] が「あり」の場合は、切り取りを開始する桁数を入力します。 入力可能な値の範囲は-9999~9999(O は除く)で、マイナスを指 定した場合は、末尾からマイナスした位置を開始とします。
11	切取文字数	数值	4	[切取] が「あり」の場合は、切り取る文字数を入力します。
12	空変換	-	-	[連携区分] が「固定値」以外の場合は、以下のリストより選択します。 ・なし ・あり(固定) ・あり(上位コピー)
13	空変換文字	文字	255	[空変換] が「あり(固定)」の場合は、変換後に設定する文字を入力 します。
14	全角変換	-	-	[連携区分] が「固定値」以外の場合は、連携される値を全角変換するかを選択します。 ・なし ・あり

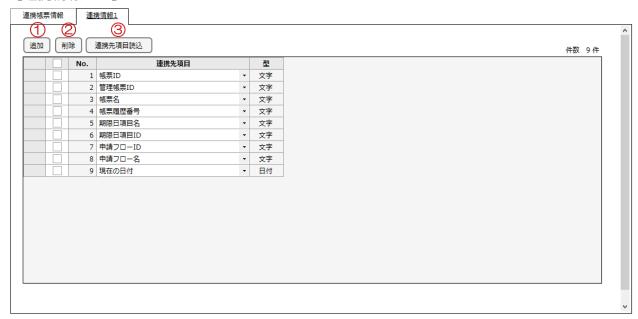
期限日設定連携

1. 連携種別を [期限日設定連携] に変更し、[詳細設定開始] ボタンをクリックする 帳票ごとに期限日変更フローを設定することができます。



No.	項目名	説明
1	連携先帳票	[検索] ボタンをクリックすると、帳票定義一覧画面が表示されます。連携先の帳票を選択してください。
2	連携元帳票	[検索] ボタンをクリックすると、帳票定義一覧画面が表示されます。期限日変更申請フロー起票時における、[連携対象フロー] の連携元帳票を複数選択することができます。
3	連携対象フロー	[連携先帳票] に選択した帳票を利用しているフローテンプレートと帳票の管理帳票 ID・タイトルが表示されます。 WEB 画面の要求一覧で「期限日変更」リンクをクリックすると、期限日変更対象の帳票に対応する期限日変更フローが起票されます。 なお、変更対象の帳票に対応する期限日変更フローが存在しない場合、標準期限日変更フローが起票されます。

【連携情報タブ】



No.	項目名	説明
1	追加	連携する項目の設定行を最終行に追加します。
2	削除	口にチェックした連携項目行を削除します。複数行の削除が可能です。
3	連携先項目読込	連携先の帳票に設定されている全項目を一覧に表示します。 ※すでに設定されている場合は、設定情報が削除され、連携先項目の再読込を行います。

教育デザイナー連携

1. 連携種別を [教育デザイナー連携] に変更し、[詳細設定開始] ボタンをクリックする



No.	項目名	説明
1	連携情報	連携情報を選択します。 ・教育計画
2	連携元帳票	[検索] ボタンをクリックすると、帳票定義一覧画面が表示されます。連携元の帳票を選択してください。

【教育デザイナーへ連携タブ】





No.	項目名	型	桁数	説明	
1	連携項目自動割当	-	-	[連携先項目] と [連携元項目] の間で項目名が一致する項目を自動で 設定します。	
2	連携先項目	_	-	連携先テーブルのカラム名を選択します。	
3	型	-	-	選択したカラムの型が表示されます。「文字」、「数値」、「日付」、「日時」、「時刻」のいずれかが表示されます。	
4	連携区分	_	-	連携先項目に連携する内容を以下のリストより選択します。 ・帳票項目 ・固定値	
5	固定値	文字	255	[連携区分] が「固定値」の場合に入力します。	
6	連携元項目	-	-	[連携区分] が「帳票項目」の場合は、連携元帳票の項目を選択します。	

7	選択	-	-	[連携区分] が「帳票項目」の場合は、クリックすると帳票項目選択画面が表示されます。
8	型	-	-	選択された帳票元項目の型が表示されます。「文字」、「数値」、「日付」、「日時」、「時刻」のいずれかが表示されます。
9	切取	-	_	[連携区分]が「帳票項目」の場合、連携する値をそのまま連携するか、 切り取って連携するかを選択します。 ・なし ・あり
10	切取開始	数値	5	[切取] が「あり」の場合は、切り取りを開始する桁数を入力します。 入力可能な値の範囲は-9999〜9999(O は除く)で、マイナスを指 定した場合は、末尾からマイナスした位置を開始とします。
11	切取文字数	数値	4	[切取] が「あり」の場合は、切り取る文字数を入力します。
12	空変換	-	-	[連携区分] が「帳票項目」の場合は、以下のリストより選択します。 ・なし ・あり(固定)
13	空変換文字	文字	255	[空変換] が「あり(固定)」の場合は、変換後に設定する文字を入力 します。
14	全角変換	-	-	[連携区分] が「帳票項目」で [型] が「文字」の場合は、連携される値を全角変換するかを選択します。 ・なし ・あり

【教育デザイナーから連携タブ】





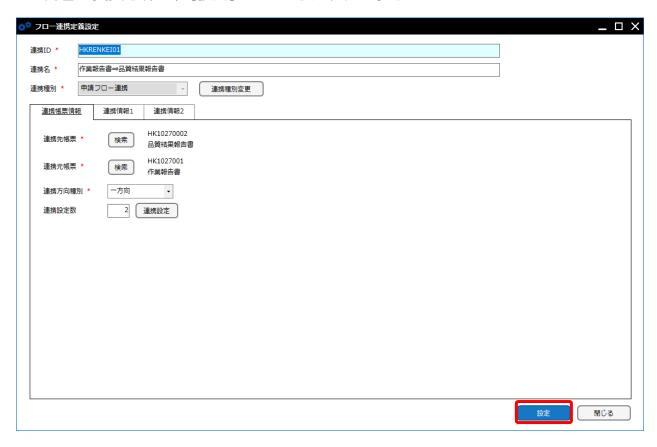
No.	項目名	型	桁数	説明	
1	追加			連携する項目の設定行を、最終行に追加します。	
2	削除			口にチェックした連携項目行を削除します。複数行の削除が可能です。	
3	連携元項目	-	-	連携元帳票に設定されている項目情報を選択することができます。	
4	選択	-	-	クリックすると帳票項目選択画面が表示されます。	
5	型	-	-	選択したカラムの型が表示されます。「文字」、「数値」、「日付」、「日時」、「時刻」のいずれかが表示されます。	
6	連携区分	_	-	連携元項目に連携する内容を以下のリストより選択します。 ・教育計画結果 ・教育完了日時 ・コメント ・固定値	
7	固定値	文字	255	[連携区分] が「固定値」の場合に入力します。	
8	切取	-	-	[連携区分] が「固定値」以外の場合、連携する値をそのまま連携するか、切り取って連携するかを選択します。 ・なし ・あり	
9	切取開始	数値	5	[切取] が「あり」の場合は、切り取りを開始する桁数を入力します。 入力可能な値の範囲は-9999~9999(O は除く)で、マイナスを指 定した場合は、末尾からマイナスした位置を開始とします。	
10	切取文字数	数值	4	[切取] が「あり」の場合は、切り取る文字数を入力します。	
11	空変換	-	-	[連携区分] が「固定値」以外かつ [型] が「文字」の場合は、以下のリストより選択します。 ・なし ・あり(固定)	
12	空変換文字	文字	255	[空変換] が「あり(固定)」の場合は、変換後に設定する文字を入力 します。	
13	全角変換	-	-	[連携区分] が「固定値」以外で [型] が「文字」の場合は、連携される値を全角変換するかを選択します。 ・なし ・あり	

フロー連携定義の複写

1. フロー連携定義を選択し、[複写] ボタンをクリックする

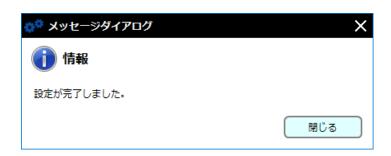


2. 内容の変更を行い、[設定] ボタンをクリックする



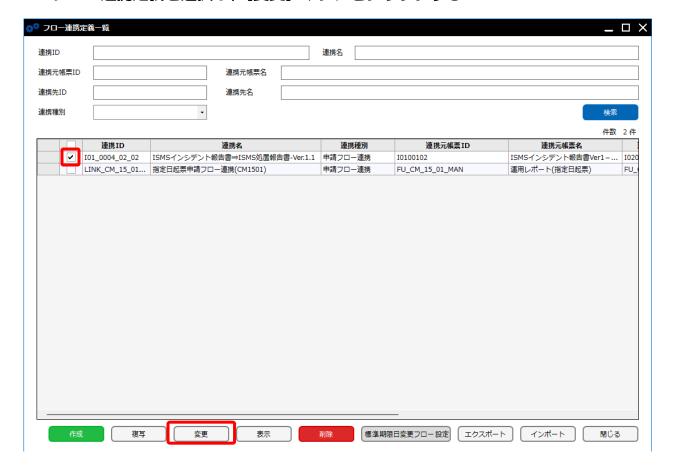
入力内容説明については、[フロー連携定義の作成]をご参照ください。





フロー連携定義の変更

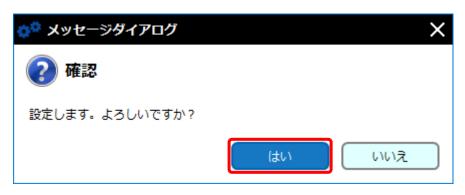
1. フロー連携定義を選択し、[変更] ボタンをクリックする

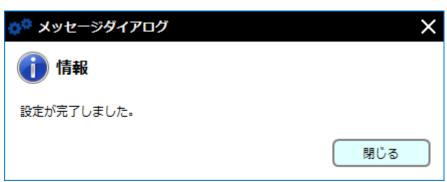


2. 内容の変更を行い、[設定] ボタンをクリックする

📫 フロー連携だ	義設定	_ 🗆 >
連携ID *	I01_0004_02_02	
連携名 *	ISMSインシデント報告書→ISMS処置報告書-Ver.1.1	
連携種別 *	申請フロー連携 連携種別変更	
連携帳票帽	報 連携情報1	
連携先帳票	*	
連携元帳票	: * I0100102 ISMSインシデント報告書Ver1-ISMS用	
連携方向和	別 * 一方向 •	
連携設定数	重携設定	
		設定 閉じる

入力内容説明については [フロー連携定義の作成] をご参照ください。





運用中のフローへの影響について

フロー連携定義を変更すると、運用中のフローで使用しているフロー連携定義の設定内容も 変更されます。ご注意ください。

フロー連携定義の表示

1. フロー連携定義を選択し、[表示] ボタンをクリックする



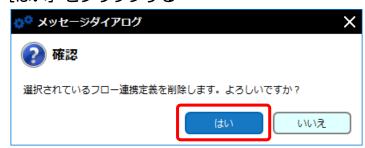
♥** フロー連携は	義設定	Ē			_ 🗆 X
連携ID *	HKRE				
連携名 *	作業幹	吸告書→品質結果	具報告書		
連携種別 *	申請	フロー連携	*	連携種別変更	
連携帳票情	報	連携情報1	連携情報2		
連携先帳票	*		HK10270002 品質結果報告書		
連携元帳票	*		HK1027001 作業報告書		
連携方向租	別 *	一方向	-		
連携設定数	t	2			

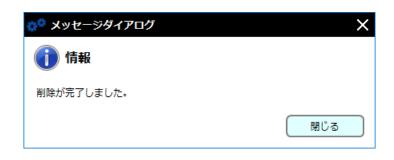
表示時は、設定を変更することはできません。

フロー連携定義の削除

1. フロー連携定義を選択し、[削除] ボタンをクリックする





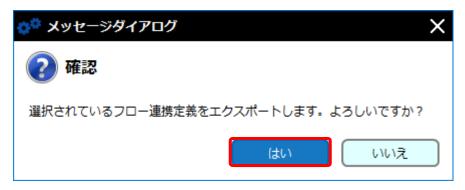


フロー連携定義のエクスポート

作成されたフロー連携定義をテスト機から本番機に移行する場合は、エクスポート・インポートの機能を利用してより簡単に定義の移行をすることができます。

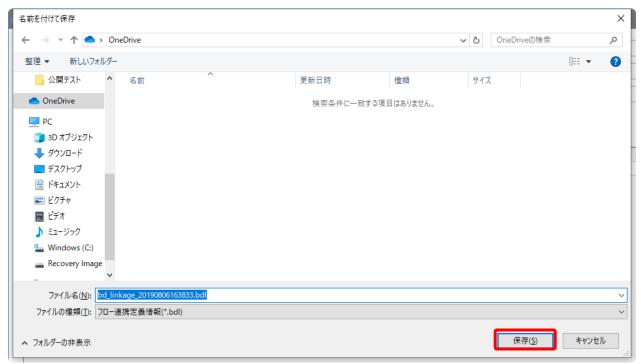
1. フロー連携定義を選択し、[エクスポート] ボタンをクリックする

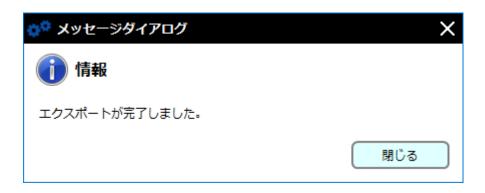




3. 任意の場所に名前を付けて保存する

ファイルの種類は、[フロー連携定義情報(*.bdl)] として保存されます。

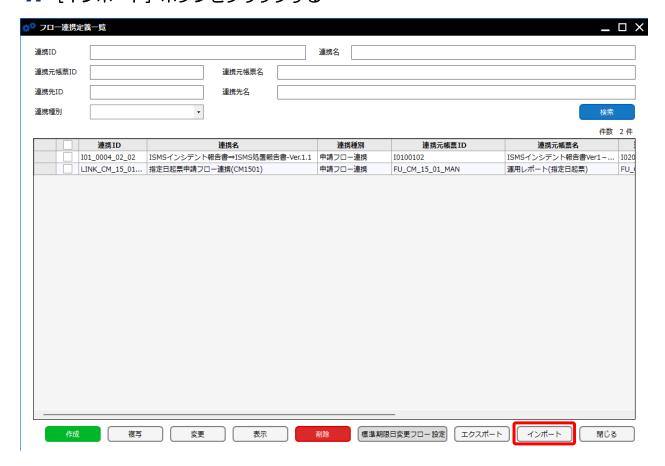




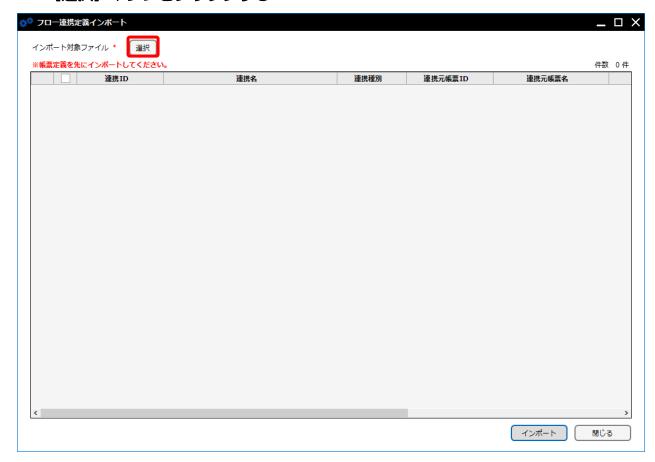
フロー連携定義のインポート

エクスポートしたフロー連携定義を取り込みます。

1. [インポート] ボタンをクリックする

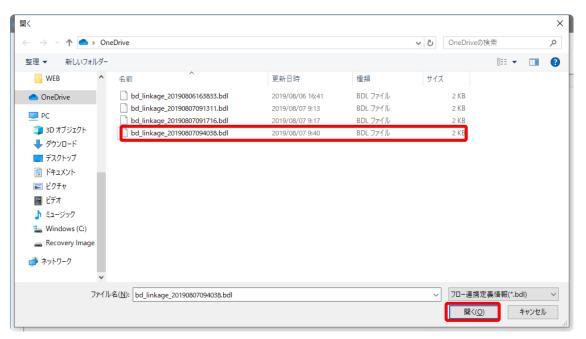


2. [選択] ボタンをクリックする

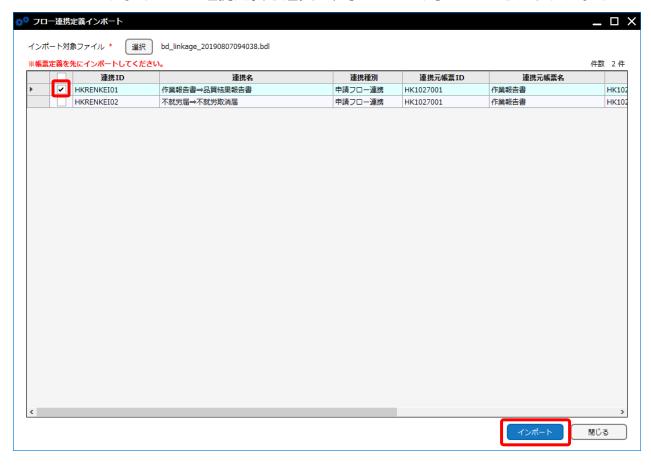


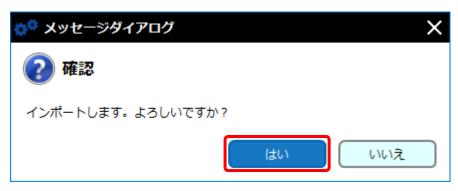
3. インポートするファイルを選択する

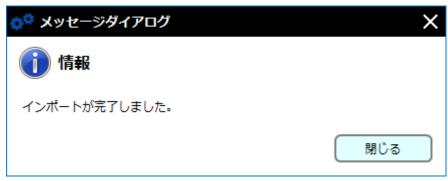
インポートするファイルを選択し、[開く]をクリックします。



4. インポートするフロー連携定義を選択し、[インポート] ボタンをクリックする







補足説明 1. 連携項目数の上限

連携項目数の上限は連携情報タブごとに、1,999 個です。

書 名:業務デザイナー 機能説明書(フロー連携定義編)

発行元:株式会社ユニオンシンク 発行日:2023年9月19日

©2023 Unionthink Co., Ltd.